



キツツキ目キツツキ科には、キツツキ類、アリスイ類などが含まれます。○オゲラという標準和名がついているものが多くあります。一般的に「キツツキ」と聞くと、木を嘴で叩いて（ドラミング）「タララララ」と連続的な音を森に響かせる情景を思い浮かべる方が多いと思います。



## 里山に育む生きものたち

### 39 アオゲラ (キツツキ目 キツツキ科)

学名 Picus awokera  
英名 Japanese Green Woodpecker

文 / 山口 萬壽美

#### ▼主な特徴

留鳥として本州、九州、四国、屋久島などに分布し、平地から山地の林に生息している日本固有種です。

大きさはヒヨドリよりやや大きい約29cm。雌雄はほぼ同色で、成鳥は約ら頸が灰色、背から尾までと翼は顔か（名の由来）、背と肩羽には灰色みがあり、腰と上尾筒には黄色みがあります。

尾の先端は黒っぽく、喉は白、胸は灰褐色。腹部から下尾筒までは白いが、腋と下腹から下尾筒にかけてV字型の黒斑があります。雄は額から後頭にかけてと顎線の一部が赤く、雌は顎線の大きさが雄より小さい。昆虫を主食とし、樹上及び地上で採餌します。果実

なども食べます。

#### ▼習性

山地の針広混交葉林（針葉樹と広葉樹が入り混じっている森林）や日本南部の常緑広葉樹の林に生息します。季節による移動はあまりありませんが、冬期に屋敷林のカシやシイなどに飛来することがあります。木の幹に縦にとまり嘴で幹や枝をつついて、木の割れ目や樹皮の下にいる昆虫を取り出して食べます。習性は他のキツツキと変わりませんが、細い枝や木の実を食べることもよく見られます。また、地上ではアリをよく食べます。

#### ▼鳴き声

鋭い声で「ピョーピョー…」と口笛に似たよく通る4音程の囀りや「ケレケレケレ」という鳴き声を出します。潤沼自然公園でも聞くことができます。

#### ▼観察メモ

アオゲラは、アカゲラに比べて低山地にも生息します。神社仏閣などにある落葉樹の大木を眺めると、この鳥に出会うことがよくあります。

なお、公園などでは日本産キツツキ類最小のコゲラに出会うことができます。「ギー、ギー」「ギーキキキ」と鳴きます。

編集・発行 / 茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748

ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス [ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp](mailto:ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp)

DATA

茨城町の人口と世帯数 ※カッコ内は前月比です。(住民基本台帳 平成27年5月末現在)  
◆総人口 33,796人 (-26)、男 16,915人 (-10)、女 16,881人 (-16) ◆世帯数 12,807世帯 (+12)

DATA

再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インキを使用しています